

令和6年度 事務事業評価表 (令和5年度実績)

事務事業名		熊毛総合支所管理運営事業費			担当所属	熊) 地域政策課			
基本情報	分野	9 都市経営		事業期間	平成15年度 ~ 永年				
	基本施策	3 効率的かつ効果的な行政マネジメントの推進		会計種別					
	推進施策	2 行財政改革の推進		実施計画	総合戦略				
事業概要	対象	ゆめプラザ熊毛 (図書館を除く) 及び熊毛総合支所							
	意図	市民に安心・安全なサービスが提供できるよう、施設の適切な維持管理を行う。							
	成果	熊毛地域における市の総合的な行政サービスの提供拠点施設としての機能を発揮する。							
	手段	ゆめプラザ熊毛 (図書館を除く) 及び熊毛総合支所庁舎の維持管理。							
指標	活動指標	指標名		単位	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込	
		施設管理経費削減		目標値	千円	28540	31046	39276	106273
				実績値	千円	26789	28740	33656	-
				目標達成度	%	93.9	92.6	85.7	-
コスト	(単位: 千円)		令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 予算		
	トータルコスト		54,150	48,382	50,646	56,484	128,737		
	事業費		32,399	26,789	28,740	33,656	106,273		
	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0		
		県支出金	0	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	2,900	36,600		
		受益者負担	137	179	280	311	158		
		その他	166	175	479	2,223	36,130		
	一般財源		32,096	26,435	27,981	28,222	33,385		
	人件費合計		21,751	21,593	21,906	22,828	22,464		
	正職員		21,751	21,593	21,906	22,828	22,464		
正職員以外		1,729	1,629	1,594	2,740	3,135			
(事業費集計済分)		(1,729)	(1,629)	(1,594)	(2,740)	(3,135)			
人員	正職員 (人)	3.04	3.04	3.04	3.14	3.09			
	正職員以外 (人)	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20			
環境変化等	開始時の周辺環境								
	現在の建物は平成13年5月に旧熊毛町庁舎として供用を開始したもので、平成15年4月の合併により周南市熊毛総合支所となり、平成21年度には複合施設「ゆめプラザ熊毛」としてリニューアルした。								
	現状の周辺環境								
環境変化等	平成31年4月に熊毛総合支所部分のワンフロア化を実現した。								
	今後の予想される周辺環境								
	経年劣化に伴う施設や機器の老朽化。								
評価	評価項目		評価	評価の理由					
	妥当性	1. 市の関与 (税金支出)		B	地域における行政サービス提供の中心的施設であり、安心安全な施設の維持管理に努めることは重要である。引き続き、施設の効率的な管理に努める。				
		2. 事務事業の目的 (対象・意図)		A					
		3. 事務事業の目標 (活動指標等)		A					
	有効性	4. 計画の実施状況		B	住民サービスの向上に向け、各職員が適切な接遇及び維持管理に努めた。また、省エネルギーに努め、維持管理経費の削減を進めた。地域における住民サービスの提供拠点としての機能が発揮できた。更なるサービスの向上を図り、来庁者の満足度を高めていく。				
		5. 目標 (活動指標等) の達成度		B					
		6. 上位施策への貢献度		B					
		7. 事業成果の向上へのさらなる取組み		B					
	効率性	8. コスト削減へのさらなる取組み		B	ゆめプラザ熊毛の貸館部分については、市民センター等の類似施設があるが、定期的に利用されており、他の事業との統合や代替は困難である。引き続き、効率的な管理を行うことにより管理経費の低減に努める。				
		9. 類似事業との統合・代替の検討		B					
10. これまでの実施手段		A							
総合評価	B	熊毛地域における行政サービスの最前線として、機能の維持、向上に努めている。							
改革案	今後の実施方向性	維持	市民に最善のサービスが提供できるよう、引き続き施設の適切な維持管理を行う。						
	成果方向性	成果維持							
	コスト方向性	コスト維持							
	改革効果 (どのような効果が期待できるか)							空調機器の老朽化に伴い、令和6年度から7年度にかけて更新工事を行い、利用者の満足度の向上を図る。	

令和6年度 事務事業評価表 (令和5年度実績)

事務事業名		高水ふれあいセンター管理運営事業費			担当所属	熊) 地域政策課			
基本情報	分野	3 地域づくり		事業期間	～				
	基本施策	1 地域コミュニティの活性化		会計種別					
	推進施策	4 地域づくり推進体制の強化		実施計画		総合戦略			
事業概要	対象	地域住民							
	意図	高水ふれあいセンターを管理・運営し、地区住民の地域活動を支援する。							
	成果	地域のコミュニティ施設としての役割を果たす。							
	手段	高水ふれあいセンターの運営、維持・管理及びコミュニティ行事の支援。							
指標	活動指標	指標名		単位	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込	
		利用件数		目標値	件	500	500	500	300
				実績値	件	199	226	197	-
				目標達成度	%	39.8	45.2	39.4	-
コスト	(単位：千円)		令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 予算		
	トータルコスト		7,249	8,055	7,907	4,575	24,056		
	事業費		4,745	5,569	5,385	2,031	21,512		
	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0		
		県支出金	0	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0	0		
		受益者負担	456	396	625	6	5		
		その他	0	0	0	0	15,000		
	一般財源		4,289	5,173	4,760	2,025	6,507		
	人件費合計		2,504	2,486	2,522	2,544	2,544		
正職員		2,504	2,486	2,522	2,544	2,544			
正職員以外		0	0	0	0	0			
(事業費集計済分)		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)			
人員	正職員 (人)	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35			
	正職員以外 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
環境変化等	開始時の周辺環境								
	平成29年度までは、高水公民館と一体的に管理運営するために、教育委員会（生涯学習課）で管理を行っていた。								
	現状の周辺環境								
高水公民館の市民センター化に伴い、平成30年度からは地域のコミュニティ施設として地域政策課で管理している。									
今後の予想される周辺環境									
地区の高齢化や過疎化、入浴館の廃止により利用者の減少が予測される。									
評価	評価項目		評価	評価の理由					
	妥当性	1. 市の関与（税金支出）		B	地域コミュニティの推進を進めるために必要な施設であり、当該施設の存在意義は大きい。開館当初から一定数の方々にご利用いただいている。				
		2. 事務事業の目的（対象・意図）		B					
		3. 事務事業の目標（活動指標等）		B					
	有効性	4. 計画の実施状況		B	地域住民のニーズに沿った管理運営に努めたが、利用者数の低迷が続いている。一定程度の利用は認められるが、施設利用の拡大に向けた啓発活動に努める必要がある。				
		5. 目標（活動指標等）の達成度		C					
		6. 上位施策への貢献度		B					
		7. 事業成果の向上へのさらなる取組み		B					
	効率性	8. コスト削減へのさらなる取組み		B	利用状況の分析が必要であり、将来的な類似事業との統合・代替について、建設に至った経緯を踏まえ慎重に対応する必要がある。 利用促進に向けた広報等の取組みを進める必要がある。				
		9. 類似事業との統合・代替の検討		B					
10. これまでの実施手段		B							
総合評価	B	入浴館を廃止し、地域の団体が気軽に打ち合わせや作業ができるフリースペース「団体活動館」を中心に、様々な事業やイベント等で使用する資機材の保管スペースとして利活用していくこととし、令和6年度に改修工事を行う。今後も、施設の在り方については、建設に至った経緯を踏まえ慎重に対応していく必要がある。							
改革案	今後の実施方向性	維持	引き続き、施設の有効活用と利用促進に向けた取組を進めていく必要がある。						
	成果方向性	成果維持							
	コスト方向性	コスト維持							
	改革効果（どのような効果が期待できるか）								
入浴館を廃止し、フリースペース・資機材の保管スペースとして利活用していくため、令和6年度に改修工事を行い、地域コミュニティの活性化を図る。									

令和6年度 事務事業評価表 (令和5年度実績)

事務事業名		周南こどもゆめまつり開催事業費			担当所属	熊) 地域政策課		
基本情報	分野	1 教育・子育て		事業期間	～			
	基本施策	2 子どもの健全育成		会計種別				
	推進施策	2 青少年の社会参加の促進		実施計画		総合戦略		
事業概要	対象	市民						
	意図	子どもから大人までの市民ネットワークを広げ、市民の一体感を醸成する。						
	成果	熊毛地域から発信する周南市のまつりとして多数の参加者を集めている。						
	手段	ゆめプラザ熊毛周辺を会場として、こどもを主役とした体験型のイベントを開催する。						
指標	活動指標	指標名		単位	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込
		参加者数の拡大	目標値	人	10000	5000	5000	5000
			実績値	人	0	0	4000	-
			目標達成度	%	0.0	0.0	80.0	-
コスト	(単位：千円)		令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 予算	
	トータルコスト		0	0	0	5,224	5,226	
	事業費		0	0	0	498	500	
	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		受益者負担	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	498	500	
		一般財源	0	0	0	0	0	
	人件費合計		0	0	0	4,726	4,726	
正職員		0	0	0	4,726	4,726		
正職員以外		0	0	0	0	0		
(事業費集計済分)		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)		
人員	正職員 (人)	0.00	0.00	0.00	0.65	0.65		
	正職員以外 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
環境変化等	開始時の周辺環境							
	「子どもが主役のまつり」として、当初は地域巡回型のイベントとして開催されていたが、平成21年度からは熊毛地域で開催する周南市全体のイベントという位置付けで開催している。							
	現状の周辺環境							
環境変化等	市民のみならず市外からの来場者も増え、本イベントに対する関心の高さが窺える。							
	今後の予想される周辺環境							
	更なる事業の充実に向け、限られたスペースの有効活用の検討が求められる。熊毛地域の児童・生徒数の減少に伴い、参加者数の減少が予想される。							
評価	評価項目		評価	評価の理由				
	妥当性	1. 市の関与 (税金支出)	B	周南こどもゆめまつり実行委員会と市が主催して行うイベントであり、市民ネットワークを中心に、子どもに特化したイベントとして定着している。				
		2. 事務事業の目的 (対象・意図)	A					
		3. 事務事業の目標 (活動指標等)	A					
	有効性	4. 計画の実施状況	A	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和2年度以降開催を中止してきたが、令和元年度以前と同様の参加者となった。ジュニア実行委員や中高生ボランティアが参加し、まつりを作り上げていく中で様々な世代との交流が図られた。イベントをきっかけとして、更なる世代間の交流を図る。				
		5. 目標 (活動指標等) の達成度	B					
		6. 上位施策への貢献度	B					
		7. 事業成果の向上へのさらなる取組み	A					
	効率性	8. コスト削減へのさらなる取組み	A	子どもに特化した内容で、他のイベントと差別化が図られている。				
		9. 類似事業との統合・代替の検討	A					
10. これまでの実施手段		A						
総合評価	A	青少年の健全育成のためのまつりであり、熊毛地域のみならず、周南市のこどもまつりとして継続するために、効率的な運営に努めている。地域の世代間交流の場として重要な役割を担っている。						
改革案	今後の実施方向性	拡充	こどもに特化した市のイベントとして、更なる内容の充実を図る。					
	成果方向性	成果維持						
	コスト方向性	コスト増大						
	改革効果 (どのような効果が期待できるか)							
イベントを通じた市民間の交流による地域づくりと参画する中高校生の人材育成。								